

1 立候補ファイル

競技 / 種別

- 【オリンピック】 バレーボール(インドア)
- 【パラリンピック】 シッティングバレーボール

立候補ファイルでの後利用コンセプト

- さまざまな室内競技大会やイベントを行うことができる大規模体育館
- 注目を集めるバレーボールの国内リーグ、国際大会の会場

2 施設内容(暫定)

座席数	大会時 約15,000席	大会後 約12,700席	この内容は、立候補ファイル等に基づき、記載した内容です。現在、引き続き検討中の状況です。
延べ床面積	約32,170 m ²		
競技エリア	メインアリーナ	※ バレーボールコート4面 又は ハンドボールコート 3面 配置可能	
ウォームアップエリア	サブアリーナ	※ バレーボールコート 2面 配置可能	
関係諸室	運営関連諸室など		
その他	駐車場など		

3 立地・建築条件等

所在地	江東区有明一丁目		
土地所有者	東京都		
主な関連法規等	「都市計画法」・「建築基準法」・「港湾法」・「海岸法」・「高齢者、障害者等が利用しやすい建築物の整備に関する条例」 など		
	都市計画法	地区計画名	臨海副都心有明北地区 地区計画
	用途地域	第一種住居地域 (建ぺい率60%/容積率200%)	
計画	2020年の東京	スポーツ施設の充実 (2020年の東京 第4章(12)「四大スポーツクラスタープロジェクト」及び第5章「目標8」)	
	東京の都市づくりビジョン	緑豊かな旧防波堤や海の眺望景観を生かし、潤い豊かな住宅地と活力とにぎわいのある商業、業務機能、魅力ある文化、レクリエーション機能、学校などの公共・公益機能などがバランスよく複合した市街地を形成 (第3章の2「東京湾ウォーターフロント活性化ゾーン」)	
	臨海副都心まちづくり推進計画・有明北地区まちづくりマスタープラン・ガイドライン	<ul style="list-style-type: none"> 居住機能の周辺に、業務、商業、公益、スポーツレクリエーション機能などを配置 東西両入江の周辺には、ウォーターフロントの景観をいかした公園や公共共益施設を配置 	
周辺状況	<ul style="list-style-type: none"> 隣接地は海上公園計画地で、水際は親水公園エリア 最寄駅から計画地に向け、高層マンションや業務ビルが多く立地している 計画地の100m以内に幼稚園・保育園、小・中・高校、大学が集中している 		
交通アクセス	<ul style="list-style-type: none"> 東京臨海新交通臨海線ゆりかもめ「有明テニスの森」駅から徒歩約8分 東京高速臨海鉄道りんかい線「国際展示場」駅または「東雲」駅から徒歩約17分 		